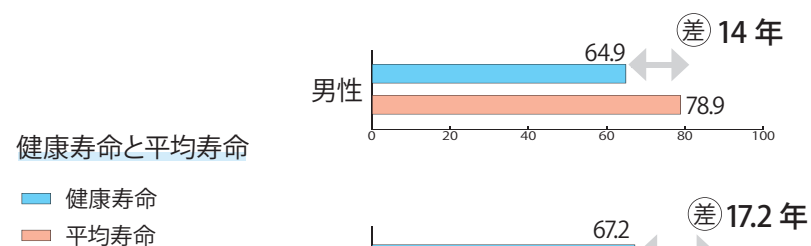


3

生活習慣病の重症化予防が大切

介護の状況と医療費(医科)

健康上の問題で日常生活が制限されずに暮らせる年数を「健康寿命」と言い、平均寿命と健康寿命との差は、不健康な期間を意味します。男性は約 14 年間、女性は約 17 年間、この期間に多額の医療費や介護費がかかります。



4

まとめ

健康な生活を送るために

医療費のかからない健康的な生活を送るためには、生活習慣病にならないよう特定健診などを定期的に受診することが大切です。受診することで、異常があれば特定保健指導を積極的に利用して生活習慣の改善を図ることや、医療機関への早期受診で重症

介護認定者の有病状況では、脳卒中は半数を超え、介護認定を受けている人は、受けなかった人より医療費が倍以上となっています。

▶介護認定者(1,575 人)の有病状況

脳卒中	虚血性心疾患	腎不全
51.2%	30.8%	12.2%

▶介護認定を受けている人といない人の医療費

受けていない人	受けている人
3,798 円 / 月	8,623 円 / 月

化を防ぐことができます。

医療費の現状を知り、自身の健康管理に関心を持ちましょう。

☎ 保険課医療保険係 ☎ 985-4107

1

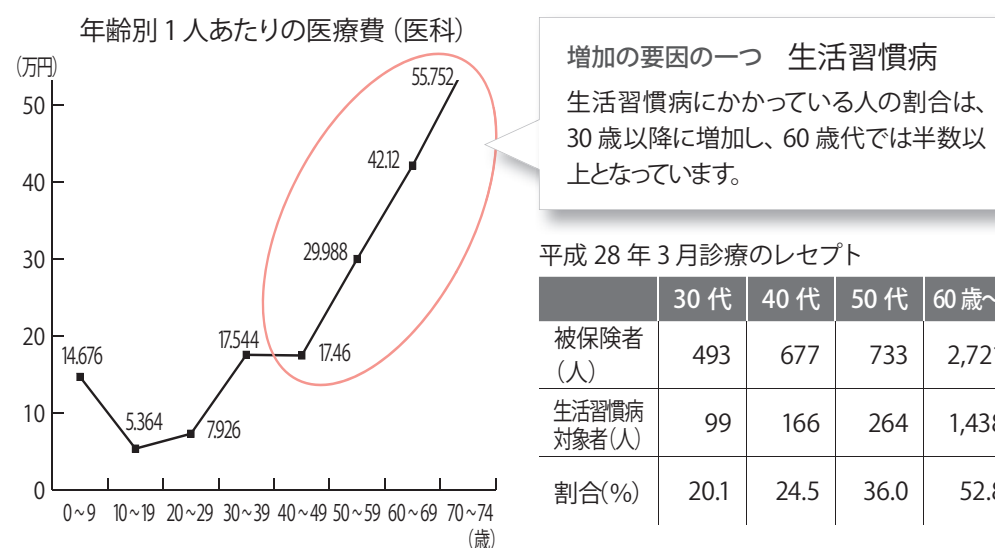
年々増加傾向

医療費の推移

加入者の高齢化や医療の高度化、生活習慣病などの増加で、医療費は年々増加しています。

	平成 25 年度	26 年度	27 年度
年間医療費	27.9 億円	29.5 億円 ↑up	29.7 億円 ↑up
1 人あたり医療費	36.0 万円	38.7 万円 ↑up	40.1 万円 ↑up

年齢別に見ると…



2

糖尿病(外来)、脳血管疾患(入院)は県内でトップクラス

生活習慣病にかかる 1 件あたりの医療費

外来医療費は、1 カ月 3 万円から 4 万円ですが、重症化すると 70 万円前後かかります。適切な処置をしないと、下の矢印のように進行。生活機能が低下し要介護状態になる可能性も高まります。また、退院しても治療が必要な場合が多く、生涯にわたって高額な医療費がかかります。

外来			入院		
高血圧症	脂質異常症	糖尿病	脳血管疾患	心疾患	腎不全
3.2 万円 (8 位)	2.9 万円 (10 位)	4.1 万円 (3 位)	68.8 万円 (3 位)	65.1 万円 (6 位)	70.2 万円 (4 位)

県内の 22 保険者(20 市町国保+2 国保組合)のうち、() 内が本町の順位。糖尿病と脳血管疾患にかかる医療費は、県内で比較しても高いことが分かる。

平成 27 年 4 月から 28 年 3 月の医療費を基に、皆さんの健康状態をお知らせします。普段の生活を振り返ってみましょう(出展「KDB システム出力帳票」)。

医療費と松前町民の健康状態



医療費に差が出る要因の一つ
特定健診の受診の有無
特定健診を受けなかった人の生活習慣病 1 人あたりの医療費は、受診した人の約 6 倍となっています。

受診 5,861 円 / 月 ⇔ 未受診 33,623 円 / 月

平成 29 年 1 月から変わる 子どもの医療費

平成 29 年 1 月診療分から、子どもの医療費助成を拡大する予定です。具体的な手続きは、広報まさき 10 月号でお知らせします。

▶どの範囲まで、「医療費助成」が拡大されるの?

入院だけでなく、外来も中学 3 年生の年度末(15 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日)まで拡大されます。

▶どのような方法で助成されるの?

小学生以上の子どもにも「受給資格証」を発行する予定です。県内については、医療機関で健康保険証と受給資格証を提示することで、保険診療分に係る自己負担額を支払わなくてよくなります。



義務教育期間の医療費が完全無料化。県内受診は、役場での医療費請求の手続きがなくなります。

☎ 福祉課児童福祉係 ☎ 985-4114

News